

令和4（2022）年度

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）

第8回 実施報告

実施日：令和5（2023）年 1月 11日（水）

女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）の第8回研修は、午前は講話「女性教育推進連絡協議会について ～女性団体活動の実際～」、事例発表「実践事例から学ぶ地域活動の実際」と栃木県女性教育推進連絡協議会との情報交換会を行い、午後はグループ研究発表会、グループ協議「グループ研究のふりかえり」と閉講式を行いました。

講話「女性教育推進連絡協議会について ～女性団体活動の実際～」

栃木県女性教育推進連絡協議会 会長 増淵 利江 氏

増淵氏からは、栃木県女性教育推進連絡協議会の組織や目的について、映像を交えながら説明いただきました。

お話の中で、会員相互の情報交換や学び合いを通して資質が向上し、地域活動が充実していくことについて強調されました。また、会員が中心となって地域活動に積極的に取り組み、女性活躍の場を広げるための活動を推進することの重要性について伝えてくださいました。

事例発表「実践事例から学ぶ地域活動の実際」

栃木県女性教育推進連絡協議会 副会長 大森 陽子 氏

大森氏からは、御自身が地元で活動してきた事例について発表していただきました。

大森氏は20年ほど前に本研修を受講されました。研修修了後には、広報誌を発行したり、寸劇を行ったりするなど、男女共同参画についての意識を広めようと活動を行ってきたことを話されました。その中で、共に活動する仲間の大切さについても話されました。



熱い思いをもち意欲的に活動に取り組んできた姿に、受講者はとても勇気づけられたと思います。

栃木県女性教育推進連絡協議会との情報交換会

増淵氏、大森氏を始め、栃木県女性教育推進連絡協議会の各支部の方々と情報交換を行いました。各支部での活動や地域活動の実践に向けてのアドバイスをお話しいただくなど、受講者によって充実した時間となりました。

グループ研究発表会

フィールドワークで得た情報やアンケート調査で得た情報、本やインターネットを活用して得た情報などを基にしながら、発表資料にまとめてきました。発表会は、今まで熱心に研究を積み重ねてきた成果を十分に披露する場となりました。

(1) A班 「脱・孤育て」

A班のグループ研究では、核家族や一人親家庭の増加、さらにコロナの影響により、出産や育児をしている人の孤立が心配されている中、孤立した子育てをしない、させないために、自分たちに何ができるのか調査分析し、発表しました。

(2) B班 「小1プロブレムへの対応」

B班のグループ研究では、小学校に入学した子どもが、学校生活になじむことのできない「小1プロブレム」と呼ばれる問題があることを知り、自分たちに何ができるのか調査分析し、発表しました。

(3) C班 「高齢者の見守りの現状 ～男性と女性の活躍の機会差について～」

C班のグループ研究では、子と同居しない、自治会に入らない孤立した高齢者世帯が年々増加していることを知り、子育ての男女平等が浸透しつつある現在、高齢者支援において男女格差がどれほどあるのか調査分析し、発表しました。



(4) 講評 県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 (GL) 和久 真

それぞれの班のよかった点を挙げ、各班でまとめた研究内容は、受講者自身の今後の活動の指針となりうることを伝えました。また、自分たちの学びや気づきを大切に、仲間と共有し活動を進めていくことの重要性を伝えるとともに、今後に向けて励ましの言葉がありました。

閉講式

修了証授与では、所長から修了者一人一人に修了証を授与しました。所長あいさつでは、研修終了後も、仲間とともに高め合い、仲間どうしの「つながり」を生かして地域づくりを進め、地域活動のリーダーとして活躍してほしいという修了者への期待が伝えられました。



<受講者の感想から>

- ・地元の女性教育推進連絡協議会の方とお話をし、団体のことを知ることができました。研究発表会で達成感を得ることができ、今後の活動の自信にもつながりました。
- ・今回研究したテーマは、今後も学び続けていきたいと思える人生での大切なテーマですので、これからもグループの方々と連絡をとり合って共有していきたいと思いました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp